



学校だより  
第8号



# 静 修



令和4年10月21日

学校教育目標「ふるさとを愛し、自立して仲間とともに生きる「静修」の子の育成」

## 爽やかで心地よい秋だから・・・

朝夕がめっきり涼しくなり、爽やかで心地よい季節となりました。スポーツの秋、読書の秋、文化の秋、子どもたちには、この気持ちのよい秋に、いろいろなことにチャレンジし、時間を忘れるぐらい、夢中になれるものを見つけてほしいと思います。

今年は春から特に家族で取り組む「家読」を勧めてきました。家族で同じ本を読むと共通の話題ができたり、親子で一緒に達成感を味わえたりと良い点を一杯紹介してきましたが、忙しさもあり、なかなか実践には至っていないのが現状のようです。(アンケート結果)

学校ではこの秋、図書委員会の活動の中で「おやお読書週間」を設定し、学校で借りた本を家族で読み、それをもとに会話を弾ませる時間を作ってもらおうと計画を進めています。何事もきっかけが大切です。家読の第一歩を踏み出すためにどうぞご協力をお願いします。

### 演劇ワークショッププログラムとは？

小中一貫だよりでもお知らせしているように、豊岡市では非認知能力「やり抜く力、自制心、協働性」の向上をめざし、本年度より市内の全小学校の1年生を対象に演劇ワークショッププログラムを取り入れています。本校は、日高小、八代小の3校と連携し、これまで2回日高小学校で実施しました。具体的な取り組みを紹介したいと思います。

#### 【第1回】6月16日(木)日高小学校

赤い布テープで四角いステージを作り、その中に入るとなんでも自分のなりたいものに変身できます。最初は大人数の日高小に戸惑っていた本校の児童も、この夢のような設定に吸い込まれ、積極的に参加することができました。



#### 【第2回】10月11日(火)日高小学校

今回は緑の布テープを一直線に張り、前回より大きなステージを作ります。「大縄跳び」や「玉入れ」というお題をグループごとに演じます。各自の役割を決めて演じる団体演技なので、話し合いが必要となり、難易度は増します。しかし、前回の経験が生き、積極的に話し合いをリードする子もいて、どのグループも全員が楽しく演じることができました。



★毎回、ファシリテーターの方々と振り返りの時間もちます。「まるで大縄の縄が見えるよう」「楽しい動きがいろいろあり、カエルの玉入れ大会みたい」など一人一人の子どもの動作や様子をいろんな角度から捉えられたコメントに驚かされました。一人一人が認められ、受容される体験を通して自己肯定感や自己有用感の向上を図っていく大切な取組となっています。

## 花ランド誕生集会

9月29日

後期の花ランド誕生集会を行いました。新しいチームとなり、リーダーを中心にみんなやる気満々です。



静修小学校のすべての学校生活の基盤となる花ランドチーム。後期もよろしくお祈りします。



## 図書スタンプラリー

9月29日

今回は、委員会メンバーの考えた楽しい企画とともに、日高市と豊岡市より図書館の職員さんに来ていただき、本の貸出体験もさせていただきました。借りた本を家で広げ、前述の「<sup>うちどく</sup>家読」にも挑戦していただければ幸いです。



## 日高東中学へ授業・部活見学

10月6日

6年生が日高東中学校へ授業・部活見学に行きました。毎年恒例の行事ですが、6年生にとっては近くにある学校なのに中に入る機会はなかなかなくて、授業も部活もとても新鮮に映ったようです。



生徒会の皆さん（静修の先輩2名含）による学校紹介や部活の案内の仕方がとても素晴らしく、入学するのが楽しみになってきました。11月には授業部活体験も予定しています。



## 飛行機遠足

10月7日

あいにくの空模様で出発が危ぶまれましたが、みんなの願いが通じ、無事大阪に向けて離陸することができました。



国立民族学博物館、ニフレルともに初めての見学地でしたが、リーダーを中心にしっかりと班行動ができ、高学年に向けて成長を感じることのできる遠足となりました。

## 秋の遠足

10月14日

今年の遠足はリンゴ狩りと但馬ドームでのスタンプラリーでした。

摘ぎたてのリンゴはほっぺがリンゴ色になるくらい美味しくて全員がペロリ！ラリーも花ランドチームで協力して全チームがGOALすることができました。



## ■全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年4月19日実施

本年度は理科を加えた3教科で、全国学力・学習状況調査を行いました。本校は、国語、算数そして理科も全国の平均と同等の結果でした。その中で、全国的に記述式の回答で無回答率の増えている中、本校の無回答率が低かったことは良い傾向だと思います。今回の結果を分析・検討し、個々の力が向上するよう課題と改善に向けた今後の取り組みを報告します。

	分析内容	今後の取組
国語	<p>○資料と文章を関連付けて読みとり、質問内容に対して適切な選択をすることができる。</p> <p>▲語句の使い方を理解し、話や文章の中で正しく使うことが難しい。</p> <p>▲文章と図表を読み取り、条件に合わせて文章を書くことが難しい。</p> <p>▲文章全体の構成を捉えることが難しい。</p>	<p>◆朝読書やスキルアップタイム（補充学習）を充実させ、長文に慣れさせることで読解力の向上を図る。家庭と連携した家読の推進。</p> <p>◆日常の作文指導の中で、はじめ・中・終わり、問い・事例、意見など相手に伝わるように文章構成を考えて書く機会を作り、習慣として身に付けさせる。</p>
算数	<p>○基礎的な計算や公式の活用、グラフの読み取りなどの基本的な力はある。</p> <p>▲文章を伴う問題が多く、問題の意味を十分につかむことができず、計算力があっても解けていない傾向が見られた。「割合」について苦手意識をもつ児童が多い。</p>	<p>◆「割合の理解」等、つまづきポイントを意識した授業展開の工夫改善を図る。基礎基本を定着させるための反復練習を継続する。</p> <p>◆文章問題を積極的に取り入れ、図や式、グラフを活用しながら、問題のイメージを捉える練習を重ねる。</p>
理科	<p>○生活経験のあることについてよく理解し、活用できている。</p> <p>▲一問一答はよくできているが、獲得している知識を使って考えることに課題がある。</p> <p>▲問題の条件、状況を読み取り、整理して考えることが難しい。</p>	<p>◆問題や図表の着眼点に気付かせ、自分で考え、他者と交流させる活動を積み重ね、個々の理解を深める活動を重視する。</p> <p>◆考察の内容を深めるために「実験→予想→結果→考察→次の疑問」というサイクルを大切にしながら授業展開の工夫を図る。</p>
児童 質問 紙	<p>○「自分でやると決めたことはやり遂げる」「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する」「友達と協力するのは楽しい」と答えている児童の割合が高い。</p> <p>○「自分には良い所がある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思っている」と答えている児童の割合が高い。</p> <p>▲「国語の勉強は好き」が100%に対し、「算数の勉強は好き」は62%に留まっている。</p> <p>▲「学校の授業時間以外で1日どのくらい読書しますか」については、半数以上が「10分以上30分未満」と少なく、全く読書をしないという児童もいる。</p>	<p>◆今後も非認知能力「やり抜く力、自制心、協働性」の向上に向け、演劇ワークショップ、コミュニケーション授業の主旨を全学年で共有し、子ども達の自己肯定感や自己有用感を高める体験的な活動を工夫していく、</p> <p>◆児童会活動、縦割り活動を行う中で、目的を意識させ、過程を大切にするよう、支援して達成感を味わわせる機会を増やしていく。</p> <p>◆普段から文章問題に慣れさせるとともに、ICTの活用を推進し、個別最適化を取り入れた授業展開を工夫していく。</p> <p>◆図書委員会を中心とした啓発活動の活性化を図り、保護者との連携を強化し、家読など家庭での読書時間の確保と習慣化を図る。</p>

このような状況を踏まえ、当該学年だけでなく全学年で課題を共有し、学力の向上や基本的な生活習慣の確立に向け、全教職員で教育活動に取り組んでいきます。読書活動の推進につきましても家読を中心に、ご家庭との連携が重要になると思います。今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。